

金融・保険業で ICT 関連の設備投資が好調

—ICT 経済は 5 四半期連続のプラスを維持—

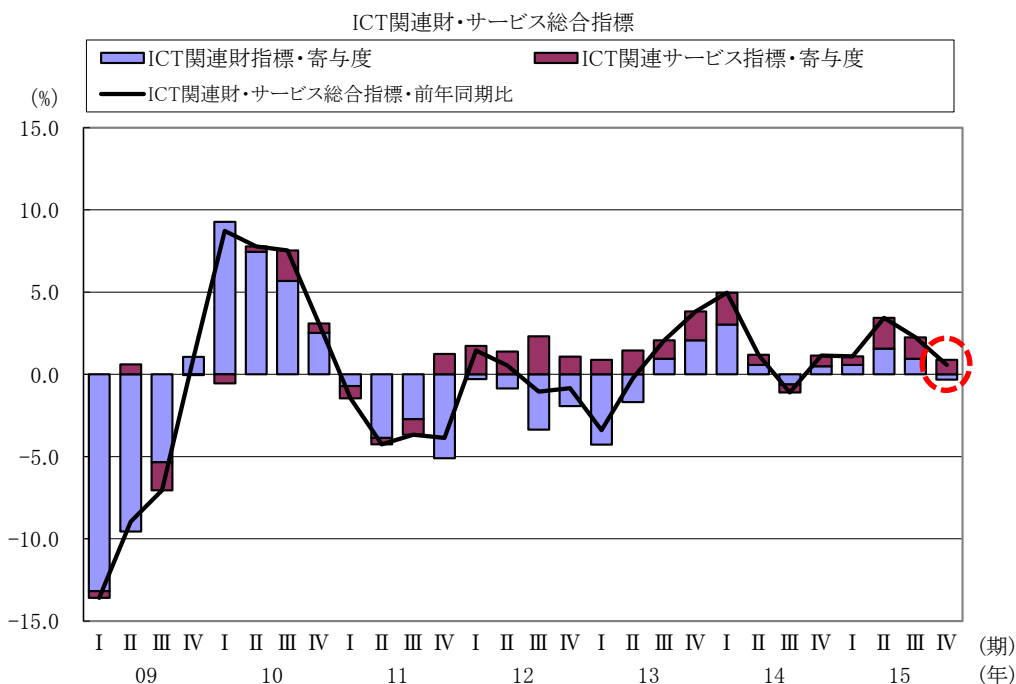
(株) 情報通信総合研究所 (本社: 東京都中央区、代表取締役社長: 眞藤 務) は、情報通信 (以下、ICT) 産業が日本経済に与える影響を把握するために、九州大学教授篠崎彰彦氏、神奈川大学教授飯塚信夫氏監修のもと作成した「ICT 関連経済指標」を用いた分析を「InfoCom ICT 経済報告」として四半期ごとに公表しております。本日、ICT 経済概況について 2015 年 10-12 月期がまとまりましたのでご報告いたします。

なお ICT 経済報告は弊社 Web サイト (<http://www.icr.co.jp/ICT/>) 上で詳細版を近日中に公開予定です。

< ICT 経済概況と見通し >

2015 年 10 - 12 月期の ICT 経済は、増加幅は縮小したものの前年同期比 0.6% 増と 5 四半期連続でプラスとなった (前期比では 2 四半期ぶりに増加 (0.4% 増) となった)。ICT サービスはプラスを維持したものの、ICT 財生産は 5 四半期ぶりにマイナスに転じた。

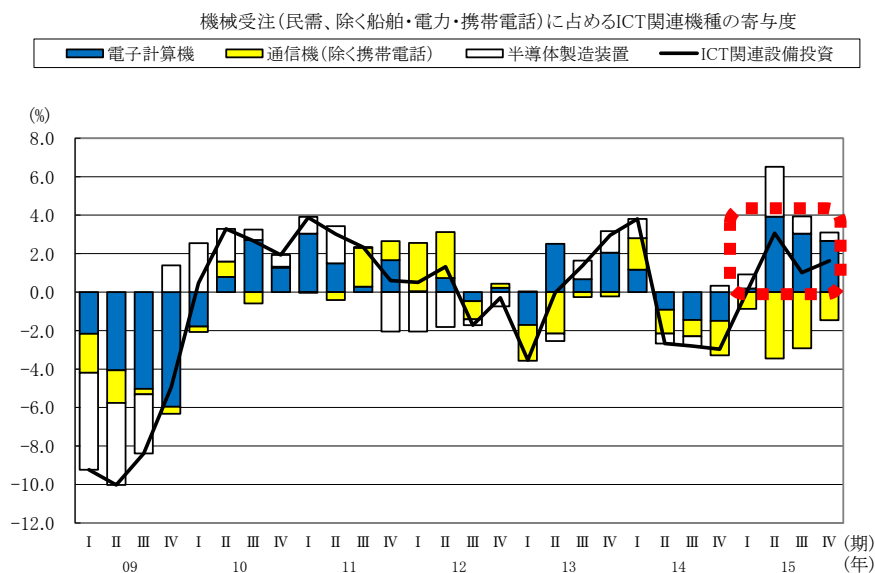
ICT 関連財・サービス総合指標の推移



ICT サービスのプラス要因としては、移動電気通信業の他、情報サービス業の貢献が大きい。具体的には、大手金融機関の ICT システムの高度化、制度要因としてのマイナンバー対応、そこから派生したセキュリティ対応がある。これら企業の ICT サービス利活用の進展が ICT 設備投資の増加につながったと考えられる。

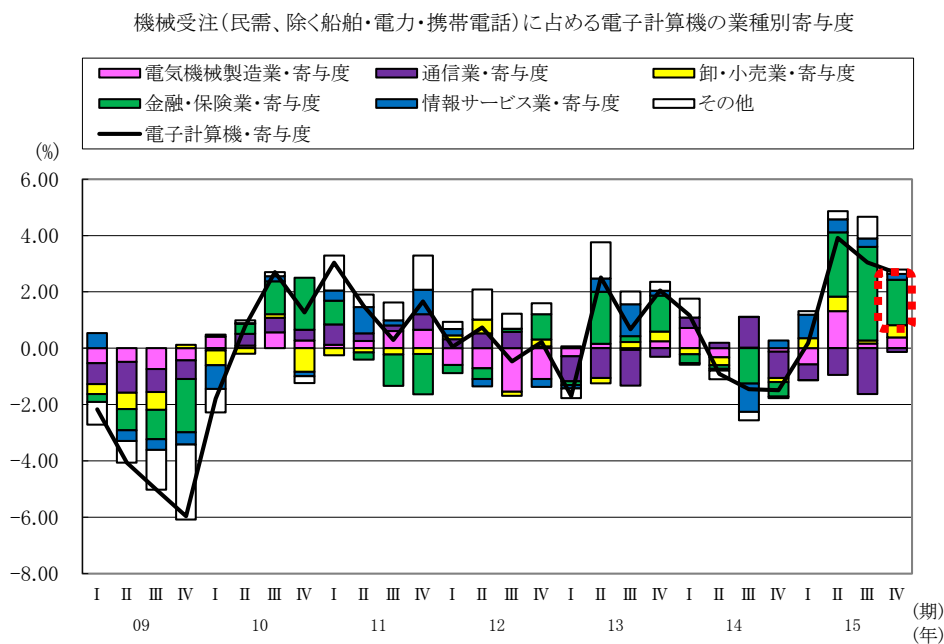
ICT 設備投資の動向をみると、15 年 1-3 月期よりプラス基調を維持しているが、その牽引役は電子計算機である。業種別にみると、システム高度化に取り組む金融・保険業の寄与が大きいことがわかる。

機械受注に占める ICT 関連機種の寄与度



(出所)内閣府「機械受注統計調査」より作成。

機械受注(民需)に占める電子計算機の業種別寄与度



備考1.(出所)内閣府「機械受注統計調査」より作成。

一方、ICT 財生産のマイナス要因は、集積回路の減少が大きい。集積回路はテレビやパソ

コン、自動車など広く使われているが、パソコンやスマートフォン需要の落ち込みの影響が考えられる。

来期以降について ICT 経済がプラスを持続するためには ICT サービス関連の設備投資が好調を持続することが必要だ。そのためには、金融・保険業のシステム高度化だけではなく、本格的な運用が始まったマイナンバー関連の ICT 利活用（セキュリティ対応含む）や企業の業績回復を背景にしたシステム更新や新規投資の継続が鍵になるだろう。ただ、海外経済の不透明感を背景にした企業マインドの悪化が設備投資を抑制させる可能性については注意が必要だ。

一方、ICT 財生産については、スマートフォン需要がこれまでと同じように拡大することが期待できず、パソコンが回復するような要因も見当たらないため、しばらく低迷する可能性が高い。

その他、ICT 消費は、しばらくは力強さに欠ける動きが続こう。中長期的には携帯電話料金に関する総務省のタスクフォースの議論の影響や MVNO サービス、光卸サービス活用の影響が注目される。また、まもなくスタートする電力小売り自由化に伴う通信各社のさまざまなセット割の提供が新たな需要を喚起することが期待される。ICT 輸出の先行きについては、海外市場の LTE 化を背景にしたスマートフォンの部材需要は期待できるが、各国地域の経済状況が気にかかるところだ。

【今後の展望】

- 今期 ICT 財・サービス総合と ICT サービスは 5 四半期連続で増加したが、ICT 財生産は 5 四半期ぶりに減少した。来期 ICT 財生産がプラスに転じるか注目される。
- ICT 財生産は、海外、主に中国向けスマートフォン需要の伸びの鈍化が部材需要にもたらす影響が懸念される。ただし、薄型スマートフォンやタブレット端末の普及、LTE（高速化）など高機能化に対応した部材需要は堅調であると言われており、この部分を強みとする日本メーカーの輸出の下げ止まりと ICT 財生産への影響が軽微に留まることが期待される。中長期的には、IoT、ビッグデータビジネスの立ち上がりを背景にした産業用機器、社会インフラ、医療機器向け等の電子部品需要の拡大が期待される。
- ICT サービスについては、企業向けはビッグデータ、IoT などを中心に利活用が進み、金融分野ではシステム投資が継続する模様である。またマイナンバー制度の導入、それに伴うセキュリティ対応、軽減税率導入に向けたシステム対応等による ICT 利用の進展が進むであろう。消費者向けでは、電子商取引などの生活系 ICT サービスの浸透によりそれに関連する情報サービス業等が広がることが期待される。
- ICT 設備投資の焦点は今期プラスを維持した電子計算機と半導体製造装置だ。電子計算機については、前述の通り、マイナンバー制度導入、セキュリティへの対応や金融機関のシステム統合、電力自由化に伴うシステム開発などに向けて堅調に推移す

るであろう。また人手不足の解決など課題解決に向けた情報化投資（IoT 活用による生産性向上、コールセンターにおけるロボット活用等）が国内外のデータセンター新設・増設につながりサーバー需要をもたらすと見込まれる。データセンターの新設・増設は、端末機器やサーバーに使う各種半導体需要を拡大し、半導体製造装置の需要増につながる。

- 消費全体では、所得が伸びない中で1世帯あたりの消費支出が2年連続で減少している。そのような中、ICT消費は、光卸を利用したサービスやMVNOサービスは大手キャリアサービスに比べ消費者に対し利用料金の安さを訴求しており、新規ユーザーの開拓にどれだけ貢献するか、また通信料の低下がスマートフォン等ICT端末・サービスを活用した消費の活発化をもたらすのか注目される。一方、テレビは、4Kテレビが品揃えの拡充と価格の低下を背景に販売を伸ばしており、今後もICT消費のプラス要因となるであろう。
- ICT輸出は、中国経済の減速や足元で進む円高の影響が懸念される。スマートフォンの高機能化、車載向け需要の高まりにより、中長期的には高機能を強みにする国内メーカーの電子部品需要は底堅く推移するであろうが、短期的に輸出全体がプラスに回復するかは慎重に動向を観察する必要がある。

【2015年10-12月期のポイント】

<ICT経済総合>

1. 国内ICT経済は5四半期連続で増加した。

<供給サイド>

2. ICT財は5四半期連続で増加した。
3. ICTサービスは5四半期連続で増加した。

<需要サイド>

4. ICT設備投資は民需が4四半期連続で増加した。
5. ICT消費は3四半期連続で減少した。
6. ICT輸出は12四半期ぶりに減少に転じ、ICT輸入は減少に転じた（金額ベース）。

【2015年10-12月期の動向（項目別、前年同期比）】

(ICT経済総合)

- 今期国内ICT経済は前年同期比0.6%と5四半期連続で増加した。前期に比べて1.7ポイント減少した（図表1、3）。

(ICT財)

- ICT財は前年同期比-1.2%と5四半期ぶりに減少に転じた（図表3、4）。
- 半導体・フラットパネル製造装置の増加幅が縮小し、電子計算機は減少幅が拡大し

た。一方、電子部品は減少に転じた。

(ICT 在庫)

- ICT 在庫は前年同期比 0.1%と増加幅が縮小した (図表 5)。
- 最大の増加要因であった電子部品は減少に転じた。一方、集積回路は、増加に転じ最大の増加要因となった。

(ICT サービス)

- ICT サービスは前年同期比 1.2%と 5 四半期連続で増加した (図表 3、6)。
- 受注ソフトウェア、システム等管理運営委託は増加幅が拡大した。民間放送業、テレビ番組制作・配給業は減少に転じた。

(ICT 設備投資)

- 民需 (除く電力、携帯電話) は前年同期比 3.9%と 4 四半期連続で増加した (図表 3、7)。
- 電子計算機、半導体製造装置の増加幅が縮小した。通信機 (除携帯電話) は減少幅が縮小した (図表 8)。
- 官公需は前年同期比マイナス 15.5%と減少に転じた (図表 3)。

(ICT 消費)

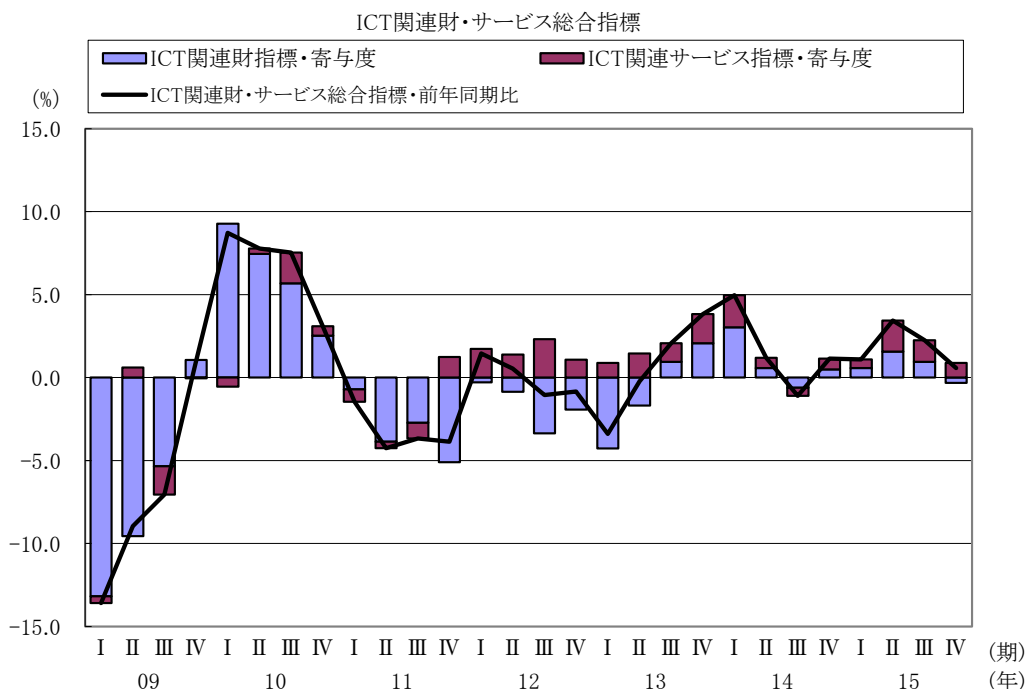
- ICT 消費は前年同期比マイナス 1.3%と 3 四半期連続で減少した。ただし、品目変更の影響がある点を考慮する必要がある (図表 3、9)。
- スマートフォンなどモバイル端末機器は増加幅が縮小したが、移動電話通信料は減少幅が縮小した (図表 9)。

(ICT 輸出入)

- ICT 輸出 (金額ベース) は前年同期比マイナス 7.5%と 12 四半期ぶりに減少に転じた (図表 3、10)。数量ベースでは 4 四半期連続で減少した。
- ICT 輸入 (金額ベース) は減少に転じた。電算機類の部分品、電算機類 (含周辺機器) は減少に転じた。通信機は増加幅が縮小した。数量ベースでは 6 四半期連続で減少した (図表 3、11)。

【ICT 関連経済指標】

図表1 ICT 関連財・サービス総合指標の推移



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」「第3次産業活動指数」より作成。

図表2 ICT 関連経済指標の推移①

| | | 2013年 | | | | 2014年 | | | | 2015年 | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| | | 1-3 月期 | 4-6 月期 | 7-9 月期 | 10-12 月期 | 1-3 月期 | 4-6 月期 | 7-9 月期 | 10-12 月期 | 1-3 月期 | 4-6 月期 | 7-9 月期 | 10-12 月期 |
| 供給 | 財・サービス総合 | - | - | + | + | + | + | - | + | + | + | + | + |
| | 財 | - | - | + | + | + | + | - | + | + | + | + | - |
| | サービス | + | + | + | + | + | 0 | - | + | + | + | + | + |
| 需要 | 消費 | + | + | + | + | + | + | + | + | + | - | - | - |
| | 設備投資(民需) | - | 0 | + | + | + | - | - | - | 0 | + | + | + |
| | 設備投資(官公需) | + | + | + | + | - | + | - | - | + | - | + | - |
| | 輸出 | + | + | + | + | + | + | + | + | + | + | + | - |
| | 輸入 | + | + | + | + | + | + | - | + | - | + | + | - |
| +の数 | | 5 | 5 | 8 | 8 | 7 | 6 | 2 | 6 | 6 | 6 | 7 | 3 |

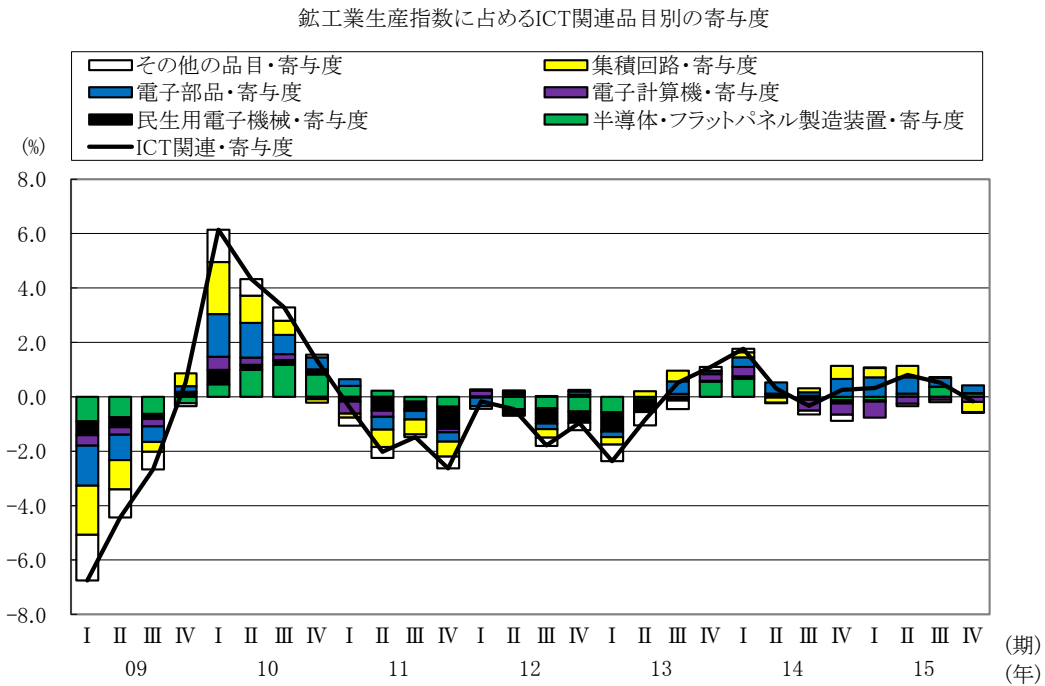
前年同期比が正の場合は「+」、負の場合は「-」。ただし、-0.25~0.25の場合は「0」（横ばい）。

図表3 ICT関連経済指標の推移②

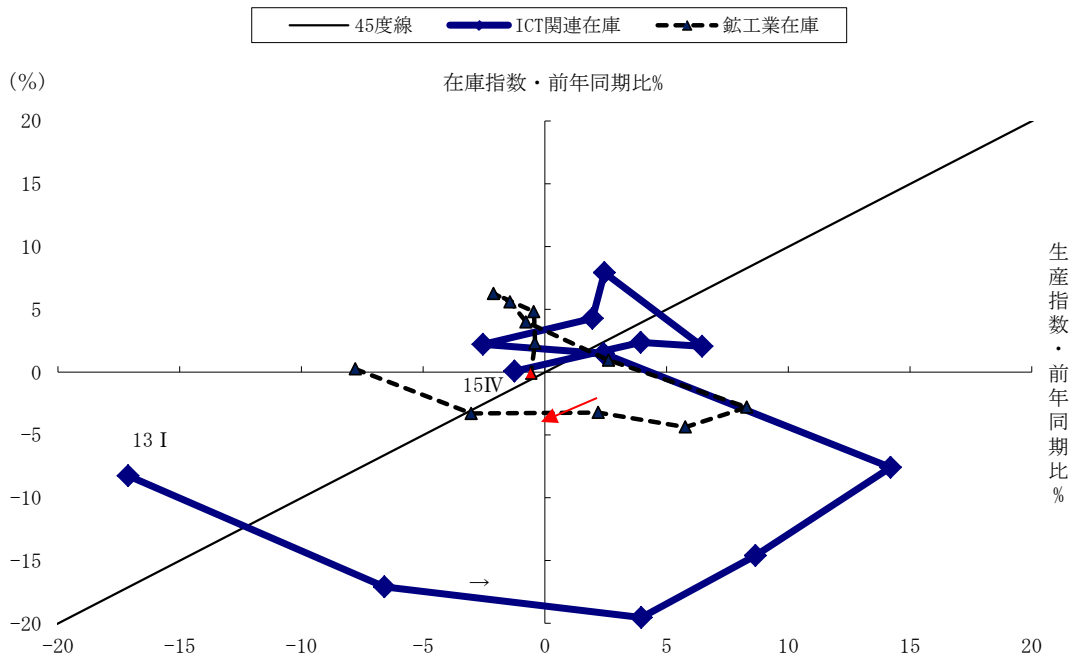
| ICT関連 財・サー ビス総 合 指数 | 財・サービス生産 | | | | | | 消費 | | | 設備投資(民需) | | | 設備投資(官公需) | | | 貿易 | | | | | | |
|---------------------------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|------|
| | 鉱工業生産指数 | | | 第3次産業活動指数 | | | 家計消費状況調査 | | | 機械受注 | | | 機械受注 | | | 輸出(金額ベース) | | | 輸入(金額ベース) | | | |
| | 前年 同期比 | ICT関連 | | 前年 同期比 | ICT関連 | | 前年 同期比 | ICT関連 | | 前年 同期比 | ICT関連 | | 前年 同期比 | ICT関連 | | 前年 同期比 | ICT関連 | | 前年 同期比 | ICT関連 | | |
| | | 前年 | ICT関連 | | 前年 | ICT関連 | | 前年 | ICT関連 | | 前年 | ICT関連 | | 前年 | ICT関連 | | 前年 | ICT関連 | | 前年 | ICT関連 | 前年 |
| 2011CY | -3.3 | -2.8 | -10.7 | -1.6 | 0.1 | -0.3 | -0.0 | -4.0 | -9.3 | -0.7 | 7.8 | 5.1 | 2.5 | -7.6 | -12.6 | -5.9 | -2.7 | -9.5 | -1.2 | 12.1 | -1.7 | -0.2 |
| 2012CY | 0.0 | 0.6 | -6.1 | -0.9 | 1.8 | 2.2 | 0.2 | 1.8 | -10.4 | -0.7 | -0.9 | -0.1 | -0.1 | 19.6 | 15.7 | 7.0 | -2.7 | -5.3 | -0.6 | 3.8 | 10.2 | 1.0 |
| 2013CY | 0.5 | -0.8 | -3.3 | -0.4 | 0.8 | 1.7 | 0.2 | -0.2 | 3.2 | 0.2 | 5.8 | 0.1 | 0.0 | 9.0 | 16.0 | 6.9 | 9.5 | 8.0 | 0.9 | 14.9 | 22.6 | 2.4 |
| 2014CY | 1.6 | 2.1 | 3.7 | 0.5 | -0.4 | 0.9 | 0.1 | 2.1 | 3.4 | 0.2 | 4.0 | -2.6 | -1.2 | -6.6 | -13.1 | -6.0 | 4.8 | 5.5 | 0.6 | 5.7 | 10.0 | 1.1 |
| 2015CY | 1.8 | -0.9 | 2.8 | 0.4 | 0.9 | 1.5 | 0.2 | -6.6 | -1.5 | -0.1 | 4.1 | 3.2 | 1.4 | -1.5 | 0.3 | 0.1 | 3.5 | 3.6 | 0.4 | -8.7 | 1.5 | 0.2 |
| 2010FY | 4.0 | 8.8 | 13.8 | 2.0 | 1.0 | 0.6 | 0.1 | -3.3 | 0.8 | 0.2 | 9.1 | 6.0 | 3.0 | -6.8 | -8.3 | -3.8 | 14.9 | 4.8 | 0.6 | 16.0 | 13.4 | 1.5 |
| 2011FY | -2.5 | -0.7 | -10.4 | -1.6 | 0.8 | 0.6 | 0.1 | -2.6 | -9.8 | -0.7 | 6.2 | 3.3 | 1.6 | 6.8 | -5.8 | -2.7 | -3.7 | -9.4 | -1.2 | 11.6 | -0.8 | -0.1 |
| 2012FY | -1.3 | -3.0 | -10.3 | -1.4 | 1.2 | 1.9 | 0.2 | 0.9 | -8.0 | -0.5 | -3.0 | -2.4 | -1.1 | 4.9 | 18.2 | 7.4 | -2.1 | -3.8 | -0.4 | 3.4 | 12.7 | 1.2 |
| 2013FY | 2.7 | 3.3 | 4.9 | 0.6 | 1.2 | 2.1 | 0.2 | 2.3 | 5.4 | 0.3 | 11.5 | 4.3 | 2.0 | 8.6 | 7.5 | 3.4 | 10.8 | 9.2 | 1.0 | 17.4 | 25.4 | 2.7 |
| 2014FY | 0.6 | -0.5 | 1.0 | 0.1 | -1.1 | 0.4 | 0.0 | -2.4 | 2.4 | 0.1 | 0.8 | -4.6 | -2.0 | -1.6 | -5.8 | -2.6 | 5.4 | 7.1 | 0.8 | -0.9 | 3.0 | 0.3 |
| 2012/4-6 | 0.5 | 6.8 | -3.2 | -0.5 | 2.9 | 1.9 | 0.2 | 4.9 | -15.5 | -1.1 | -1.7 | 2.8 | 1.3 | 26.7 | 22.1 | 13.2 | 4.8 | -5.5 | -0.7 | 5.0 | 8.6 | 0.8 |
| 7-9 | -1.0 | -3.9 | -12.4 | -1.8 | 1.0 | 3.2 | 0.3 | 1.0 | -12.2 | -0.9 | -4.6 | -3.7 | -1.7 | 18.1 | 25.1 | 12.2 | -8.2 | -8.9 | -1.1 | 0.3 | 10.8 | 1.0 |
| 10-12 | -0.8 | -5.9 | -7.5 | -1.0 | 0.8 | 1.5 | 0.2 | -0.3 | -3.7 | -0.2 | -0.8 | -0.6 | -0.3 | -1.5 | 16.9 | 6.0 | -5.5 | -0.6 | -0.1 | 0.5 | 14.9 | 1.5 |
| 2013/1-3 | -3.4 | -7.8 | -17.1 | -2.4 | 0.2 | 1.2 | 0.1 | -1.9 | 0.6 | 0.0 | -4.6 | -7.4 | -3.5 | -6.9 | 10.9 | 3.4 | 1.2 | 0.6 | 0.1 | 8.0 | 16.1 | 1.6 |
| 4-6 | -0.2 | -3.0 | -6.6 | -0.8 | 1.0 | 2.0 | 0.2 | -2.4 | 3.9 | 0.2 | 6.4 | -0.1 | -0.0 | 7.4 | 23.3 | 13.4 | 7.0 | 8.9 | 1.0 | 10.3 | 21.8 | 2.1 |
| 7-9 | 2.1 | 2.2 | 4.0 | 0.5 | 1.2 | 1.5 | 0.2 | 0.9 | 3.4 | 0.2 | 9.6 | 2.9 | 1.4 | 34.0 | 13.2 | 6.8 | 12.7 | 11.2 | 1.3 | 17.5 | 25.8 | 2.7 |
| 10-12 | 3.8 | 5.8 | 8.6 | 1.1 | 0.6 | 2.3 | 0.2 | 2.5 | 4.9 | 0.3 | 13.3 | 6.3 | 3.0 | 14.4 | 17.2 | 7.2 | 17.4 | 11.1 | 1.3 | 24.1 | 26.2 | 3.0 |
| 2014/1-3 | 5.0 | 8.3 | 14.2 | 1.8 | 2.0 | 2.5 | 0.3 | 8.2 | 9.2 | 0.6 | 16.4 | 8.2 | 3.8 | -9.1 | -16.2 | -6.1 | 6.6 | 5.4 | 0.6 | 17.6 | 27.3 | 2.9 |
| 4-6 | 1.2 | 2.6 | 2.4 | 0.3 | -1.5 | 0.8 | 0.1 | 1.1 | 1.8 | 0.1 | -0.4 | -5.8 | -2.7 | 11.8 | 0.3 | 0.2 | 0.1 | 0.6 | 0.1 | 2.8 | 3.4 | 0.4 |
| 7-9 | -1.1 | -0.8 | -2.5 | -0.3 | -1.3 | -0.6 | -0.1 | 0.4 | 1.8 | 0.1 | 2.4 | -6.3 | -2.8 | -19.7 | -24.3 | -10.6 | 3.2 | 2.6 | 0.3 | 2.4 | -0.9 | -0.1 |
| 10-12 | 1.1 | -1.4 | 2.0 | 0.3 | -0.7 | 0.9 | 0.1 | -1.3 | 0.9 | 0.1 | -2.6 | -6.7 | -3.0 | -2.5 | -13.1 | -5.6 | 9.1 | 13.2 | 1.5 | 1.2 | 11.5 | 1.3 |
| 2015/1-3 | 1.1 | -2.1 | 2.5 | 0.3 | -0.8 | 0.7 | 0.1 | -9.4 | 1.3 | 0.1 | 3.3 | 0.1 | 0.0 | 6.5 | 13.3 | 4.6 | 9.0 | 12.0 | 1.3 | -9.3 | -2.1 | -0.2 |
| 4-6 | 3.4 | -0.4 | 6.5 | 0.8 | 1.9 | 2.5 | 0.3 | -5.8 | -2.9 | -0.1 | 12.4 | 7.0 | 3.1 | -0.4 | -1.9 | -1.1 | 6.7 | 7.3 | 0.8 | -5.1 | 7.3 | 0.8 |
| 7-9 | 2.3 | -0.4 | 3.9 | 0.5 | 1.5 | 1.7 | 0.2 | -6.2 | -3.3 | -0.2 | -0.9 | 2.5 | 1.0 | 1.6 | 1.7 | 0.7 | 3.7 | 4.9 | 0.6 | -5.8 | 12.8 | 1.4 |
| 10-12 | 0.6 | -0.6 | -1.2 | -0.2 | 1.0 | 1.2 | 0.1 | -4.8 | -1.3 | -0.1 | 2.1 | 3.9 | 1.6 | -18.4 | -15.5 | -5.9 | -4.6 | -7.5 | -0.9 | -13.9 | -8.6 | -1.1 |

(出所) 経済産業省「鉱工業指数」、「第3次産業活動指数」、内閣府「機械受注統計」、総務省「家計消費状況調査」、財務省「貿易統計」より作成。

図表4 鉱工業生産に占める ICT 関連品目の寄与度

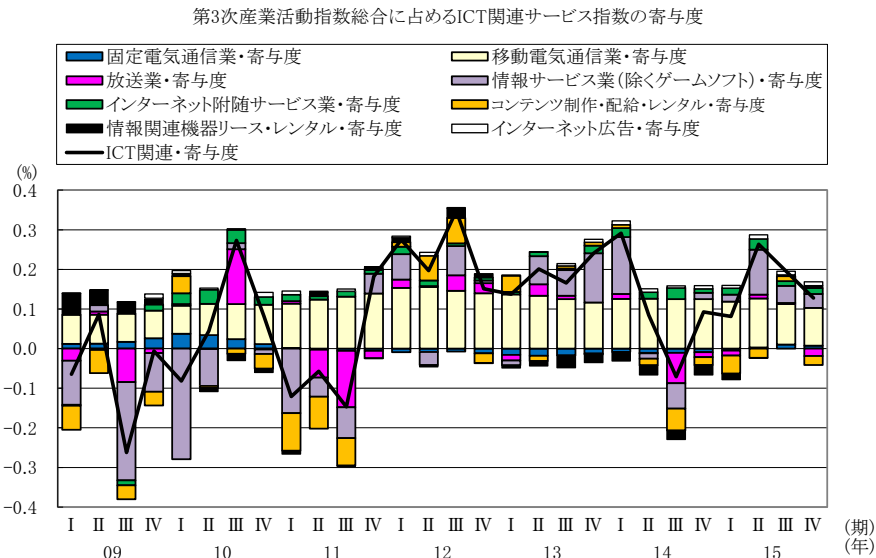


図表5 ICT関連在庫循環図(四半期)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」より作成。

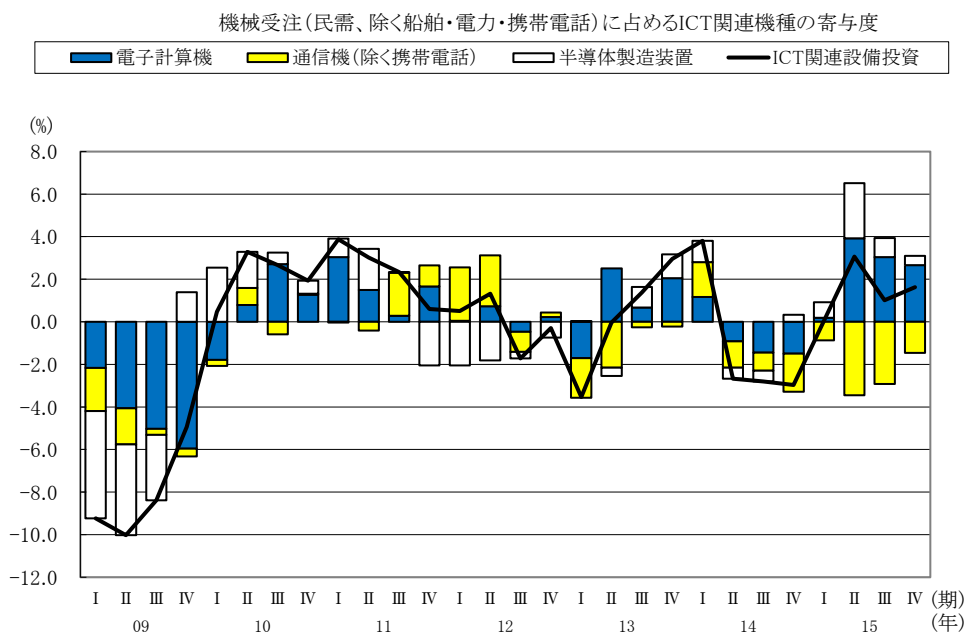
図表6 第3次産業活動指数に占めるICT関連サービスの寄与度



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

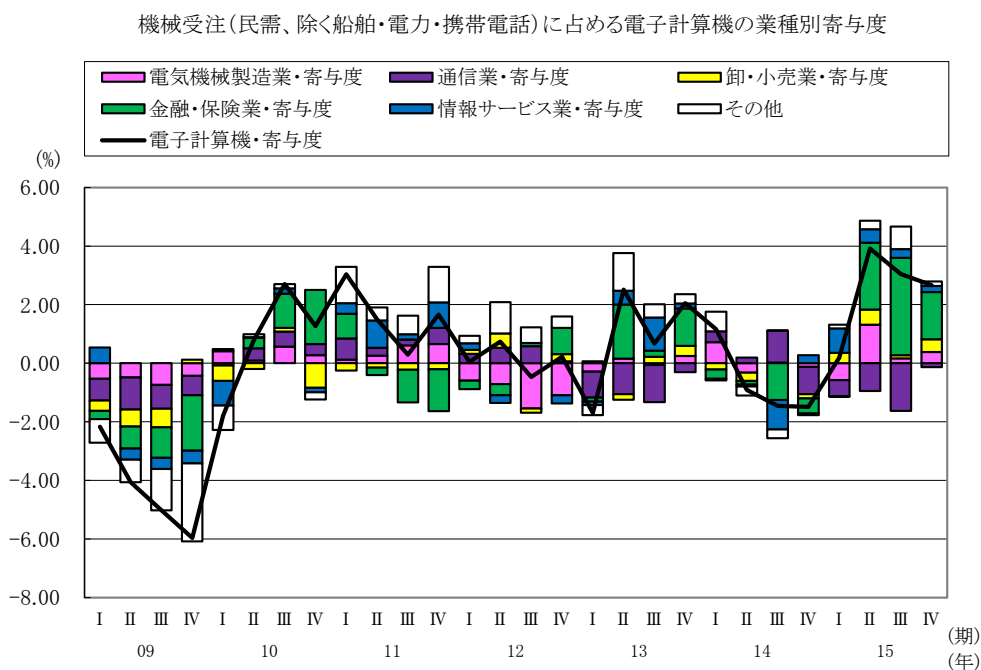
※第3次産業活動指数の2010年基準改定により、採用品目を変更し、過去に遡及してデータを改定。詳細は(参考P12)に記載。

図表7 機械受注（民需、除く船舶・電力・携帯電話）に占めるICT関連機種種の寄与度



(出所)内閣府「機械受注統計調査」より作成。

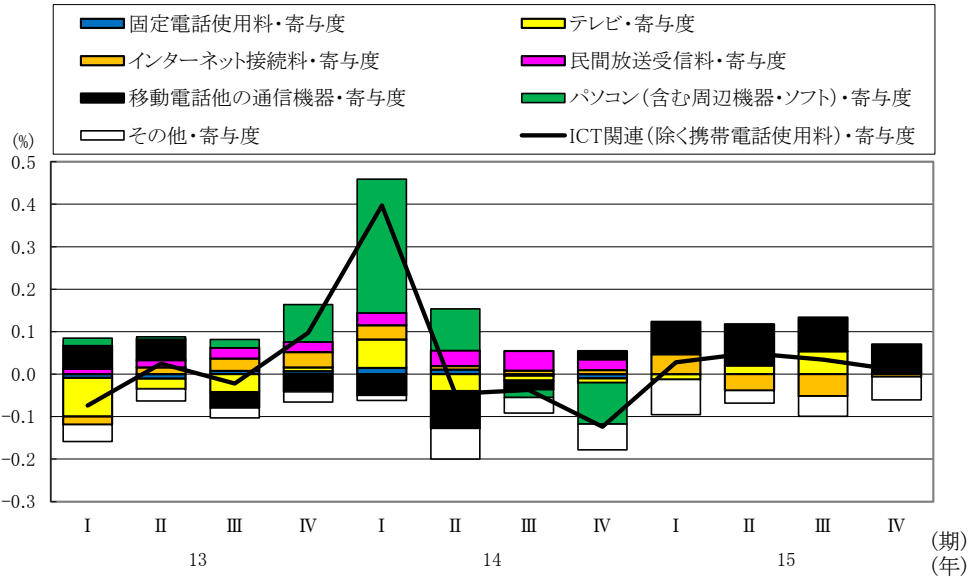
図表8 機械受注（民需）に占める電子計算機の業種別寄与度



備考1.(出所)内閣府「機械受注統計調査」より作成。

図表9 家計消費支出（家計消費状況調査）に占める ICT 関連消費の寄与度

家計消費支出（家計消費状況調査）に占めるICT関連消費（除く携帯電話使用料）の寄与度



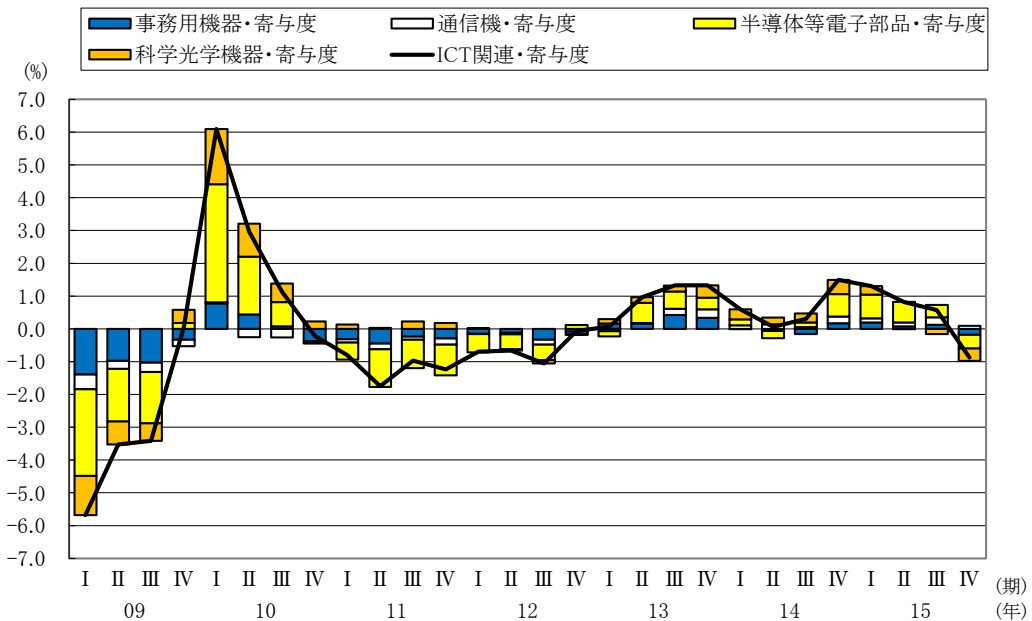
備考1.(出所)総務省「家計消費状況調査」より作成。

2.ICT関連品目は、固定電話通話料、移動電話通話料、インターネット接続料、民間放送受信料(ケーブルテレビ受信料、衛星デジタル放送視聴料)、移動電話他の通信機器(移動電話機、インターネット接続機能付固定電話機(2007年12月まで)、ファクシミリ付固定電話機、PDA(2005年12月まで)、カーナビゲーション(2007年12月まではネット接続機能付カーナビゲーション))、パソコン、パソコン周辺機器・ソフト、その他(カメラ、ビデオカメラ(2007年12月まではデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ))、その他(ステレオセット、テレビゲーム(2009年12月まではネット接続機能付テレビゲーム機))。

※ 2015年1月から調査品目が変更された。データの継続性があると判断した携帯電話(携帯電話・PHS)使用料と移動電話端末(移動電話他の通信機の内数)、インターネット接続料、テレビ、ビデオデッキ(その他の内数)、カメラ(その他の内数)、ビデオカメラ(その他の内数)の項目を用いて分析している。なお、インターネット接続料にはケーブルテレビとのセット料金が含まれるようになったため、前年同期の値をインターネット接続料とケーブルテレビ受信料(インターネット接続サービスとセット契約の場合)の合計値として寄与度を計算しているが、調査票が異なるので単純比較することはできない点には注意が必要である。同様に携帯電話(携帯電話・PHS)使用料と移動電話端末も調査票の表現が変更された点に注意が必要である。採用品目の詳細は巻末の参考に記載している。

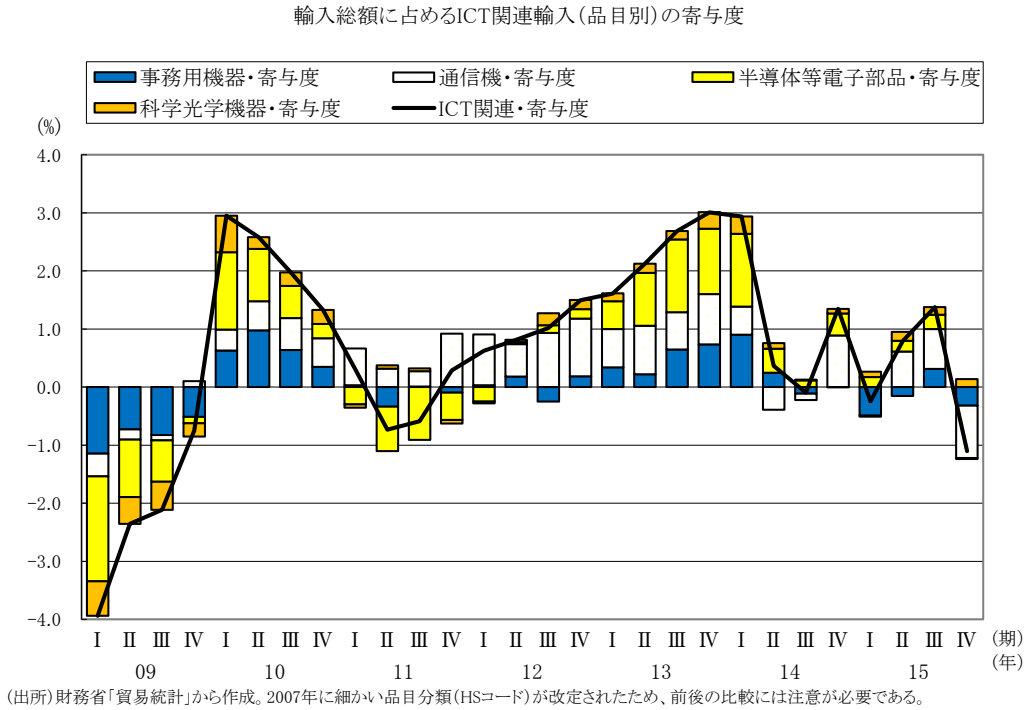
図表10 輸出総額に占める ICT 関連輸出（品目別）の寄与度

輸出総額に占めるICT関連輸出(品目別)の寄与度

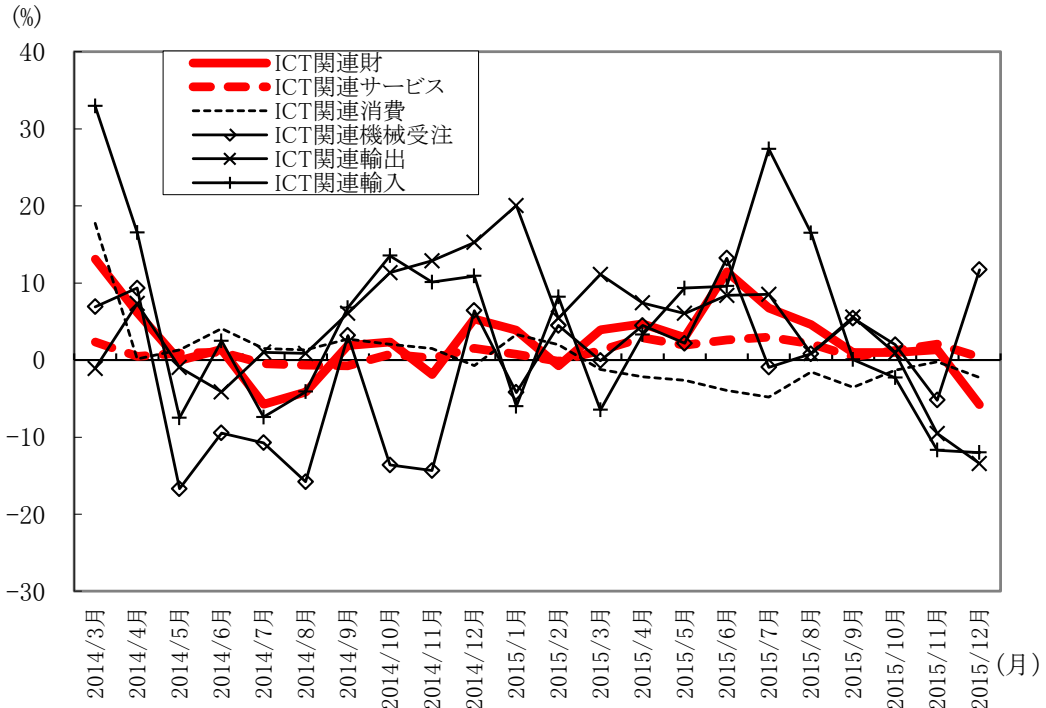


(出所)財務省「貿易統計」から作成。2007年に細かい品目分類(HSコード)が改定されたため、前後の比較には注意が必要である。

図表 11 輸入総額に占める ICT 関連輸入（品目別）の寄与度



図表 12 ICT 関連経済指標（前年同期比）の推移（月次）



参考 ICT 関連経済指標に採用した項目

| | ICT関連生産指標 | ICT関連サービス指標 | ICT関連設備投資指標 (民需、官公需) | ICT関連消費指標 | ICT関連輸出入指標 |
|------|--------------------|----------------------|--|--|---------------------|
| 元の統計 | 経済産業省 「鉱工業指数」 | 経済産業省 「第3次産業活動指数」 | 内閣府 「機械受注統計」 | 総務省 「家計消費状況調査」 | 財務省 「貿易統計」 |
| 採用項目 | 電線・ケーブル※1 | 固定電気通信業 | 電子計算機 | 固定電話使用料※9 | 事務用機器※24 |
| | 半導体・フラットパネル製造装置※2 | 移動電気通信業 | 通信機※8 | スマートフォン・携帯電話・PHSの通信・通話使用料※10 | 電算機類(含周辺機器)※25 |
| | その他の一般機械※3 | 受注ソフトウェア※5 | 半導体製造装置 | スマートフォン・携帯電話・PHSの本体価格※11 | 電算機類の部分品※25 |
| | 電気計測器※1 | ソフトウェアプロダクト※5 | | ファクシミリ付固定電話機※9 | 通信機※26 |
| | 通信機械 | システム等管理運営受託※5 | | インターネット接続機能付固定電話機※12 | 半導体等電子部品 |
| | 電子計算機 | その他の情報処理・提供サービス業※5 | | 携帯情報端末(PDA)※13 | 科学光学機器 |
| | 電子部品 | 放送業※6 | | カー・ナビゲーション※9※14 | |
| | 半導体素子 | インターネット付随サービス業※7 | | テレビ※15 | |
| | 集積回路 | 映像情報制作・配給業※6 | | パソコン(タブレット型を含む。周辺機器・ソフトは除く)※16 | |
| | 半導体部品 | 音声情報制作業※6 | | ステレオセット※9 | |
| | 電池※4 | 情報関連機器リース | | デジタル放送チューナー・アンテナ※9 | |
| | その他の電気機械※4 | 情報関連機器レンタル※5 | | ビデオデッキDVDレコーダー・プレイヤー等を含む※16 | |
| | 民生用電子機械※4 | 音楽・映像ソフトレンタル※6 | | テレビゲーム(ソフトは除く)※18※19 | |
| | その他の情報通信機械※4 | インターネット広告※6 | | カメラ(使い捨てのカメラは除く)※20 | |
| | | | | ビデオカメラ※21 | |
| | | | | インターネット接続料※22 | |
| | | | | CATV受信料(受信)※9 | |
| | | | 衛星デジタル放送視聴料※9 | | |
| 集計方法 | ウェイト(付加価値額)を用いて集計 | ウェイトを用いて集計 | 合計(民需は船舶・電力を除く値) ※8:2005年4月以降携帯電話機が別計 | 合計(農林漁家世帯を含む2人以上世帯) ※9:2015年以降廃止 | 合計 ※24:2005年以降廃止 |
| 注 | ※1:2003年以降廃止 | ※5:1998年以降採用 | | | ※25:2005年以降採用 |
| | ※2:2002年以前は特殊産業用機械 | ※6:2008年以降採用 | | ※10:2014年以前は携帯電話(携帯電話・PHS)使用料という名称 | ※26:1988年以降採用 |
| | ※3:2002年以前は事務用機械 | ※7:2003年以降採用 | | ※11:2014年以前は携帯電話機(携帯電話機・PHSの本体価格と加入料)という名称 | |
| | ※4:2003年以降採用 | | | ※12:2008年以降廃止 | |
| | | | | ※13:2006年以降廃止 | |
| | | | | ※14:2007年以前はインターネット接続機能付きカー・ナビゲーション | |
| | | | | ※15:2009年以前はデジタル放送チューナー内蔵と内蔵以外を集計 | |
| | | | | ※16:2014年以前はパソコン(ディスプレイのみ、キーボードのみを含む)とパソコン用周辺機器・ソフトが別計。2015年以降はディスプレイのみ、キーボードのみを除く | |
| | | | | ※17:2009年以前はデジタル放送チューナー内蔵と内蔵以外を集計 | |
| | | | | ※18:2014年以前はテレビゲーム(ソフト含む) | |
| | | | | ※19:2009年以前はインターネット接続機能付きテレビゲーム機 | |
| | | | | ※20:2007年以前はデジタルカメラ | |
| | | | | ※21:2007年以前はデジタルビデオカメラ | |
| | | | ※22:2014年以前はインターネット接続料(プロバイダ料金など※23)とケーブルTV受信料(インターネット接続サービスとセット契約の場合)が別 | | |
| | | | ※23:2009年以前はプロバイダ料と通信料、プロバイダ料を集計 | | |

「InfoCom ICT 経済報告」の主な内容

- 情報通信産業のマクロ経済への寄与度及び個別品目（サービス）の寄与度の分析
財・サービスの生産面、需要面について、ICT 関連経済指標を作成し、マクロ経済の動向を示す総合経済指標の増減に対して、情報通信産業の寄与について定性的、定量的に分析。
- 情報通信の在庫循環分析
情報通信生産と情報通信在庫の循環を分析。
- 情報通信株価指数による情報通信生産の予測分析
情報通信産業の株価データ指数を用いて、来期の情報通信生産の増減を予測。
- 情報通信資本ストックデータの分析
情報通信技術利用による経済成長の効果に関する推定作業を行なう際に必要となる情報通信資本ストックデータを作成。毎年データを延長すると共に、動向を分析。

<会社概要>

社名 株式会社情報通信総合研究所 (www. icr. co. jp)

1985年6月設立。情報通信専門のシンクタンクとして、情報通信分野の専門的調査研究、コンサルティング、マーケティング、地域情報化にかかわる調査・提案などのビジネスを展開するとともに、これらに関するノウハウ・データを蓄積してきた。近年は、ICTの急激な進展に伴い、研究分野をさらに拡大することでICTが経済社会にもたらす変化を定量的に把握する手法を開発するなど、広く社会の発展に寄与する情報発信・提言を行う最先端のシンクタンクとして事業を展開している。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-14-10 アーバンネット日本橋ビル

TEL 03-3663-7157/FAX 03-3663-7390

株式会社情報通信総合研究所 ICT 経済分析チーム

主席研究員 野口正人

主任研究員 手嶋彩子、山本悠介

研究員 佐藤泰基、久保田茂裕、鷺尾哲

監修 九州大学大学院経済学研究院教授 篠崎彰彦

神奈川大学経済学部教授 飯塚信夫

※本稿の内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

野口正人 (noguti@icr.co.jp) 山本悠介 (yamamoto@icr.co.jp)